

# 令和4年度 第4回 高知県公立大学法人経営審議会議事録

1 日 時：令和5年3月23日（木）14：00～16：05

2 場 所：高知県公立大学法人 永国寺キャンパス教育研究棟3階 役員会議室

3 会場出席者：伊藤 博明、磯部 雅彦、野嶋 佐由美、青木 章泰、五百藏 高浩、蝶野 成臣、  
原 哲、上田 達哉、国則 勝英、岡村 昭一、佐竹 慶生、十河 清、依光 晃一  
郎、弥勒 美彦

WEB出席者：春日 文子

監事：浜田 正博、松本 幸大

欠席者：尾池 和夫、長岡 幹泰

## 4 議事録署名人の選出

規定により理事長が議長を務め、議案について審議を行った。

本経営審議会の議事録署名人として、弥勒委員と上田委員を指名した。

## 5 議 事

### 1号議案 令和5年度高知県公立大学法人年度計画について

事務局からの説明ののち、議案について審議を行い、一部修正箇所については理事長一任として原案どおり承認された。

- ・ 委員より、新学群の専任教員について、確保している15名の経歴や研究内容等の質問があった。
- ・ 高知工科大学より、データサイエンスの専門、IT情報系、会計学・経営の専門、IT企業の幹部等を集めて15名となっているが、良い人材がいれば引き続き確保したいと考えているとの回答があった。
- ・ 委員より、年度計画第6の1（2）、「高知工科大学新学群の新校舎基本設計に係る検討会」の部分で、検討会というのは選考委員会の意味合いかとの質問があった。
- ・ 理事長より、正しい表現に訂正するよう発言があった。
- ・ 委員より、新学群の専任教員の採用はとても重要なことである。最先端の部分を取り込めるような形で採用出来れば良いと思う。また、学生募集は高校生やその保護者に工科大の素晴らしさを伝えられるような工夫をしていただきたいとの発言があった。
- ・ 理事長より、高校生に限らず県民を対象に広報戦略を考えていきたいとの発言があった。
- ・ 委員より、年度計画第2の1（1）オ（ア）について、高知県立大学が行っている入試と入学後の成績の相関分析などやその他の活動が高知工科大学とも共有できるようになっているのかとの質問があった。
- ・ 理事長より、入試時の成績を入学後に活用すること自体は制度的に大丈夫なのか。原則入試時

の成績は入学試験のみに使用すべきものではないのか。入学後にも活用するのであれば、事前承諾等しっかりとした対応を取っておく必要があるのではないかとの発言があった。

- ・ 高知県立大学より、入学手続きの際に入試の時の成績を活用することに対して手続きしていると認識しているが、改めて確認をする。また、入試と入学後の成績の相関分析というのは、入試時の個々人の成績を大学の成績に紐づけているのではなく、入試の区分（一般入試・推薦入試）とを紐づけているものであるとの回答があった。
- ・ 理事長より、個々ではなく団体・集団で見ているのであれば、年度計画の文言を分かりやすくした方がよいとの意見があった。
- ・ 高知県立大学より、高知工科大学との情報の共有に関しては、入試は現在高知工科大学の職員が入試課長として来てくれているので、連携は取れているとの回答があった。
- ・ 理事長より、入試に限らず両大学の成果やノウハウを共有できる取組を進めていきたいとの発言があった。
  
- ・ 委員より、年度計画第2の3（5）の南海トラフ地震対策について、高知工科大学はもっと具体的な貢献を行っていると思うので、それらの取組をできるだけ記載してはどうかとの意見があった。
- ・ 高知工科大学より、従来から行っている研究成果の発信や、地域・自治体の要請に応じて委員に就任している教員が提言を行うなどの貢献をしているが、様々なことがあり過ぎて具体的な取組を記載することが難しいとの説明があった。
- ・ 理事長より、様々あって書きにくいではなく、研究名や情報発信の方法、委員会の名称等を書けるように工夫するよう意見があった。
- ・ 委員より、目に見える形でイメージが湧くような書き方をしていただきたいとの発言があった。
- ・ 関連して、高知工科大学より、令和5年度から組織体制を見直し、現在、入試業務と一体として行っている広報を切り分けて大学全体の広報を強化・発信できるような事務局体制の強化を考えていることが伝えられた。
  
- ・ 委員より、広報の際には大学の専門的な知見をお知らせするだけでなく、見た人が使いやすい工夫も加えていただきたいとの発言があった。また、年度計画第2の2（1）イの「S A W A C H I 型健康社会共創拠点」研究は素晴らしい取組なので、説明を加えていただきたいこと、さらに高知工科大学も参画しているので高知工科大学でも記載してはどうかとの意見が出された。
- ・ 高知県立大学より、「S A W A C H I 型健康社会共創拠点」については、2年間継続して展開型に移行しようとしたが実現できなかったこと、また、高知大学、高知県との間で何らかの形で続けていけるよう模索しているが見通しが立っていないので、年度計画から削除することも考えているということが伝えられた。
  
- ・ 委員より、年度計画の書き方として、高知県立大学・高知工科大学ともに共通する部分に関してはひとつにまとめて、個別の相違点等は下部に記載するようにはどうかとの意見があっ

た。

- ・ 理事長より、本年度より、合わせられるところは合わせて、各大学の特色部分は分けて記載するようにしている。今後も引き続きこの取組はしていくとの発言があった。
- ・ 委員より、前回以前の目標には法人統合に関する目標があったが、今回のものにはあまり記載がないのはどうしてかとの質問があった。
- ・ 理事長より、法人統合による取組は、規程整備など形的な成果は上がってきたと思うが、中身の部分、統合による効果の実現や具体化に向けてはなかなか踏み込めていないのが実情。次年度からは統合メリットの具体的な実現に向けて動かす仕組みを設置して行こうと考えているとの発言があった。
- ・ 理事長より、いただいた意見を踏まえて一部修正・追記をしていくようにするとの発言があった。

## 2号議案 令和5年度高知県公立大学法人当初予算について

事務局からの説明ののち、議案について審議を行い、原案どおり承認された。

- ・ 委員より、光熱水費を減らす努力はどのようなことをしているのかとの質問があった。
- ・ 高知工科大学より、残業を減らす、使用していない部屋の電気は消す等、小さな努力をしている。教員の研究等で使用する電力使用量は大きいものになるが、そこを削ることは困難なため、小さな努力を重ねているのが現状であるとの回答があった。また、県の補助金でエアコンを順次更新しており、エネルギー効率の良い室温調整ができるようになってきているとの説明があった。
- ・ 高知県立大学より、事務所内が一定の電力使用量になるとアラームが鳴るようになっているため、アラームが鳴った際には手動でエアコン等を消すようにしているとの回答があった。
- ・ 委員より、資料について、予算の要求額と内示額だけでなく、前年度との比較があってもいいのではないかと意見があった。また、人件費についての最近の引上げの傾向や、インフレに対する施策・対策などは盛り込まれているのか、前年度と比較してどうなのかという質問があった。
- ・ 理事長より、予算要求の表には令和4年度の数字は入っていたが、資料のサイズの都合でカットした。次回からは、比較ができるように資料を作成するよう検討していくとの発言があった。また、人件費のベースアップに対する予算が入っているかに関しては、入っていない。次年度の公務員給与改定の状況を見てからの対応になるとの回答があった。

## 3号議案 高知工科大学学則の改正について

事務局からの説明ののち、議案について審議を行い、原案どおり承認された。

## 6 報告

### 1号報告 高知県公立大学法人本部組織規程の改正について

- 2号報告 高知県立大学大学院研究助成金規程の改正について
- 3号報告 高知県立大学組織規程の改正について
- 4号報告 高知工科大学大学院奨学金返還免除候補者の選考に関する規程の改正について
- 5号報告 高知工科大学センター規程の改正について
- ・ 委員より、新設する女性エンジニア育成支援センターは理系女子学生を支援すると記載されているが、文系女子学生は対象にならないのかとの質問があった。
  - ・ 事務局より、文系に比べて理系の女子学生が少ないのが現状なので、その部分を強化していきたいという思いから、センターを設置するものであるとの回答があった。

- 6号報告 高知工科大学組織規程の改正について
- 7号報告 高知工科大学事務分掌規程の改正について
- 8号報告 高知県立大学及び高知工科大学における活動報告について

## 7 その他

以上により、本日の議事を終了した。

うえのとおり、確認をする。

令和 年 月 日

議 長 \_\_\_\_\_ (印)

議事録署名人 \_\_\_\_\_ (印)

議事録署名人 \_\_\_\_\_ (印)